

審査基準

審査項目		審査の視点	評点	
1 企画提案の内容	①本業務における提案者の強みについて	本業務の成果を高めるための自社の持つノウハウ等の強みが活かされた特色ある提案となっているか。 事業面及び技術面から実現可能な提案がされているか。	10	65
	②マッチングのための方法や工夫について	全体を通して、自治体と企業をマッチングさせるための具体的な方法が提案されているか。 自治体と企業のマッチングの確率が高まるような工夫がなされているか。 自治体と企業をマッチングさせるために必要なコーディネート力の備わった人員を配置できているか。	10	
	③本業務における役割分担について	本業務における委託先と県（高知県ヘルスケアイノベーションプロジェクトコーディネータを含む）の業務内容ごとの役割分担が適切に決められているか。	5	
	④ガバメントピッチについて	自治体の抱える課題を整理し、企業が提案しやすいテーマ設定ができているか。 ガバメントピッチに向けた自治体に対するサポートは適当か。 より多くの企業がガバメントピッチを視聴できるような工夫がされているか。	5	
	⑤企業の募集方法について	募集方法に、より多くの企業からの応募が見込めるような工夫が盛り込まれているか。	5	
	⑥企業の応募受付からソリューション提案企業の選定までの手順について	企業の応募受付手順は適当か。 マッチング会においてソリューションを提案する企業を絞り込む場合、企業の応募受付後から絞り込みまでの手順や方法、視点は適当か。	3	
	⑦ソリューション提案企業に対する企業ピッチまでのサポートについて	マッチング会において提案する企業へのサポートは適当か。 企業からの提案内容を自治体の課題に沿ったものに磨き上げができる内容になっているか。	7	
	⑧マッチング会の開催について	マッチング会の運営体制や開催形式は現実的な内容になっているか。 自治体と企業のマッチングにつながる方法になっているか。	5	
	⑨マッチング後のサポートについて	マッチングした自治体と企業が共創で地域課題解決に向けた研究開発等に取り組んでいけるような支援となっているか。	7	
	⑩県外企業と県内機関との交流について	県外企業と県内機関（金融機関、高等教育機関、企業等）の交流が活発に起きる取組になっているか。	3	
⑪情報発信について	高知県ヘルスケアイノベーションプロジェクトを全国の企業に向けて周知するための効果的な情報発信の方法が提案されているか。	5		
2 業務の実施体制	委託先の業務実施体制	本業務を円滑に遂行するために、事業規模等に適した実施体制をとっているか。 本業務の目的を達成するための専門的な知見やスキル、コーディネート力を有しているか。	10	10
3 スケジュール	スケジュールの実現性	実施スケジュールが具体的であり、実現可能な内容となっているか。	10	10
4 業務実績	これまでの業務実績	これまでに類似業務や実績は十分あるか。	10	10
5 実施経費	経費配分と事業の実現性	予算額（14,817千円）の範囲内での、経費配分が適切であり、事業が実施可能であるか。	5	5